

ケアセンターけやき 藤野 宏彦(介護福祉士/通所リハビリテーション)

- 功 績** 通所リハビリテーションの新たなサービスを導入することで、リハビリテーションとの相乗効果を得られて、ご利用者満足度向上と新規ご利用者獲得に貢献している功績
- 推 薦 者** 主任 栗原 春季
- 推 薦 理 由** 学研ナーシングサポートで学んだフットケアを通所リハビリに取り入れ、利用者満足の向上、稼働アップに貢献しました。また、スタッフ全員で協力して取り組むことで職員の和の構築とやりがいを提供できましたので理事長賞に推薦します。

内 容

藤野は昨年から、療法士が行うリハビリ以外にも、介護職としてご利用者に喜んでもらえる新しいサービスを模索しておりました。そんな中、健育会グループで導入している学研ナーシングサポート講座の「フットケア」について学ぶ機会がありました。「フットケア」を通所リハビリテーションで導入することで、リハビリテーションとリラクゼーションの相乗効果を狙い、通所リハビリテーションの新たなセールスポイントになると思い今後の導入に向けて動き始めた。

2018年1月より「フットケア」導入に対してご利用者にアンケートを実施。その結果、大多数のご利用者から「受けて」との回答を頂いた。本格的に始動する為、介護職ミーティングを行い、実施時間帯、実施人数、介入時間や施行方法等についてスタッフから意見を収集。2月より数名に対して試験的に実施したところ、トラブルもなくスムーズに介入でき、また、ご利用者にも大変喜んで頂けた。4月からの導入に向け、希望者の日程調整を行ない、予約券を配布し、「フットケア」を開始。体験されたご利用者からは好評を頂いた。そのことを広報誌で紹介したところ、狙い通りリハビリテーションとのミックスはセールスポイントとなり、別の曜日のご利用者やケアマネから振替や利用増が2名、新規ご利用者紹介が1名あり、スタッフの自信とやりがいにも繋がっています。

更に、日総研主催の「高齢者ケアの現場で実践するドイツ式フットケア体験」に介護職員が参加、継続的に利用増しをして頂けるようにフットケアの技術を習得し、他の介護職員へスキルの横展開も実施した。

藤野は「フットケアを通じてご利用者が喜んで頂ける事は嬉しいですが、それにも増して、スタッフ全員で取り組めたことが良かった」と今回携わった全てのメンバーへの協力に感謝の気持ちを向けて「けやきにおける協力できる文化」を再度認識できる良い機会となった。